

意見書

(一部省略)

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。



建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の 拡充を求める意見書

可決

2021年、建設アスベスト給付金法が成立された。しかし、給付金支給対象者は限定されており、アスベスト建材製造企業による補償の在り方も定められていない。国には、次の事項について、必要な措置を講じるよう求める。

- 1 アスベスト建材製造企業による補償を措置し、被害者の救済を図る
- 2 給付金の対象者について拡大し、必要な措置を行うこと
- 3 住宅・建築物アスベスト改修事業について、助成制度を拡充すること
- 4 地方公共団体におけるアスベスト監視体制に対する財政支援を拡大すること
- 5 国民や事業者に対し、アスベストの周知徹底を図ること

適格請求書等保存方式（インボイス制度）の 廃止を求める意見書

否決

町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

川上 力

- ひきこもり対策(安心の居場所)について
- 災害に負けない町づくりについて
- 命を救う献血事業への協力、教育・啓発について

村上 真由美

- 耳の聞こえに困難を抱えている方への支援
- 小・中学校における防災教育
- 重層的支援体制の構築

増田 等

- 松伏町の地域公共交通の目指すものは

砂川 清時

- 巨大地震対策について
- 東埼玉道路の周辺整備について

佐藤 永子

- 音楽によるまちづくりについて
- 第6次総合振興計画を推進することについて

増田 秀雄

- 安全安心のまちづくりについて
- 東埼玉道路開通後の松伏町の発展について
- 保健センターの建設について

平野 千穂

- 「協働の道づくり事業補助金」の創設について
- プレーパークの実施による子どもの居場所づくりを
- 子どもたちの居場所と多様な学びの場の拡充を

吉田 俊一

- 野田街道の歩道の改善を
- 松伏町地域公共交通計画の作成について
- 国民健康保険税の負担軽減を

高野 祐大

- 埼玉県が推進する「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」に松伏町がエントリーしていない理由について
- 松伏町の行政の透明性について
- すべての有権者への公平な情報提供について

鈴木 勉

- 保健センター移転に伴う用地取得計画について
- 松伏町第6次総合振興計画の全面的な修正について

10人の議員が町政を問う



かわかみ つとむ
川上 力
(公明党)

Q ひきこもり対策に安心の居場所を A 相談体制を充実していきたい

問 ひきこもり当事者や家族が安心して集え、支援が受けられ、社会への接点となる居場所が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答 町長 町には、かなり、ひきこもり当事者がいると思っている。実数把握が大事である。同じ悩みをもつ親の集いをもち心のケアもしていきたい。ひきこもり当事者がもう一度来てみたいと思えるような取り組み、当事者へのケアについては研究が必要である。民生委員の協力を得ながら相談体制を充実していきたい。

問 災害時に避難所となる学校体育館の空調整備事業は、有利な条件で事業が行える国の臨時特例交付金の対象となる。整備への町の対応や方針を伺う。

答 教育総務課長 令和7年度は、タブレットの更新工事やスペシャルサポートルームの設置、給食センターの老朽化に伴う工事等を行う。各小中学校体育館へのエアコン設置は、学校教育や社会教育におい

て使用が予想され、教職員や児童生徒、保護者等の期待も大きいことも理解しており、今後も、設置に向け、検討をしていく。

問 町は献血事業の啓発や推進を行うべきではないか。

答 すこやか子育て課長 「二十歳を祝う会」で啓発資料を配布している。町民まつりなどの際に献血を行うには調整が必要である。ホームページでの献血への協力の呼びかけは直ちにに取り掛かりたい。



献血事業の啓発・推進



むらかみ まゆみ
村上 真由美
(公明党)

Q 窓口に軟骨伝導イヤホンを設置

A 本庁舎1階窓口に集音器を用意

問 役場庁舎内の窓口に老眼鏡があるのと同じように軟骨伝導イヤホンを設置できないのか。また、身体障害者手帳の交付を受けていない65歳以上の高齢者に補聴器購入費助成ができないのか。

答 総務課長 本庁舎1階いきいき福祉課と住民ほけん課窓口に、町民から寄贈の集音器を2台用意している。高齢者の補聴器購入助成を行うことは考えていないが、埼玉県に町村会を通じて要望していきたい。

問 茨城県常総市では、令和4年9月から全小・中学校にスポーツ感覚で防災を学べる体験型授業を導入し、防災教育に力を入れている。このような自助・共助を学べる授業が出来ないのか。

答 教育総務課長 本町でも、各教科等で、自分の身を守る自助の力と周りとの協力する共助の力を育成している。今後も、体験を通じた防災教育を通して、学校外で災害に遭遇した場合にも対応できる力を育成していく。

問 足立区福祉まるごと相談課は、相談内容は問わず、誰でも・なんでも相談できる窓口で訪問による相談も行う。町でも重層的支援体制を進める考えはないのか。

答 いきいき福祉課長 今後の福祉のニーズや相談事例等を勘案しながら、必要に応じて相談支援体制について調査研究していく。



本庁舎1階窓口の集音器



ますだ ひとし
増田 等
(自民クラブ)

Q 若者たちが希望の持てる施策は

A BRT構想等あるが時間がかかる

問 公共交通が不十分であることが若者の町外転出の主たる理由に挙げられているが、町の解決策は。

答 企画財政課長 バス・タクシーの地域公共交通を維持するとともにBRTなどの将来を担う交通網の整備促進により、公共交通網の充実を図る。

問 若者たちが希望の持てる施策は打ち出せないか。

答 町長 BRT構想等もあるが、高速道路の開通が必要で、かなり時間がかかる。

問 町は立地適正化計画で「コンパクト・プラス・ネットワーク」の町づくりを進めている。公共交通不便地域の交通手段の確保が不十分では。

答 町長 公共交通ネットワークの整備充実による活気と賑わいのあるまちづくりを進めていく。

問 町は、公共交通は生活に必要なインフラとの考えから地域公共交通計画を策定すべきでは。

答 企画財政課長 現在の公共交通をまず維持し、都心へのアクセス利便性向上のため地下鉄8号線やBRTの整備などの誘致活動を実施していく。

問 多子子育て世帯や免許返納の高齢者の対応は。

答 企画財政課長 地域の支え合いによる外出サービス、ライドシェア、デマンド交通など調査検討。

問 バス停から300メートル以上離れている公共交通不便地域の交通手段は。

答 企画財政課長 企業や病院が運営の送迎車の混乗、空き時間の活用や先進事例の情報収集を行う。



横瀬町乗合タクシー「のりあいブコーさん号」

希望の時間を予約、他の予約者と乗り合わせて、自宅等から目的地まで利用できる予約(デマンド)型の新交通



すながわ きよとき
砂川 清時
(自民クラブ)

Q 巨大地震について

A 茨城県南部地震を想定

問 巨大地震による町の被害想定と対策状況を問う。

答 総務課長 松伏町の被害想定は、マグニチュード7.3が予測される茨城県南部地震を想定し、死者2名、建物の全壊259棟等を見込んでいる。現時点での対策状況は、緊急輸送道路に架かる「ふれあい橋」や「松の木橋」は、桁の落下を防ぐ落橋防止装置を設置。また、水道水の供給は、配水管の耐震化を進めており、町内耐震化率は令和5年度末で45.9%で、ガスの供給も供給元の管路の耐震化を進めており、町内の耐震化率は令和7年2月末現在で70%である。建物の耐震化率は、令和2年度末現在の一般住宅の耐震化率を93%と推計し、避難所を含む町有建築物は、耐震改修等がすべて終了し100%、学校、病院等の民間建築物は95%となっている。

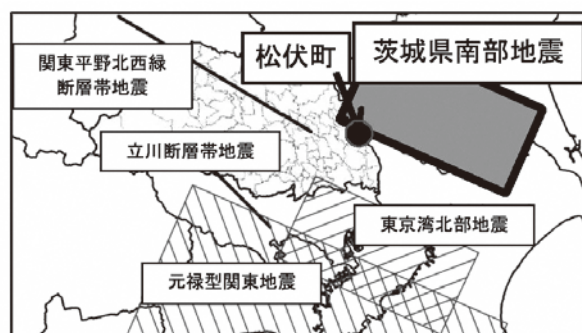
問 東埼玉道路と周辺整備について、自動車専用部(高速部)は、盛土構造から橋梁構造に計画変更されたが、一般部の開通に影響は無いか問う。

答 新市街地整備課長 一般部の開通予定への影響はなく、松伏町田島まで今年春頃の開通を予定。

問 旭橋と豊橋区間の農業用水路の整備を問う。

答 環境経済課長 八間掘悪水路への排水路の改良工事においては、逆流防止弁を設置。高速部橋梁下部の空間を活用した調整池の整備も予定。

松伏町が最大の被害を受ける
茨城県南部地震発生予想エリア



震源断層の分布(埼玉県地震被害想定調査報告書より)



さとう えいこ
佐藤 永子
(自民クラブ)

Q 音楽のまちづくりの予算の増額を

A 予算等を多くつけていきたい

問 松伏町は、町政20周年記念事業に松伏中央公民館と田園ホール・エローラを建設した。県立松伏高校にも音楽科ができ、音楽の町として、松伏町にゆかりのある音楽家のコンサートや質の高い音楽イベントや音楽を実施する考えはないか。

答 教育文化振興課長 音楽のまちづくりの推進については、田園ホール・エローラを拠点に町民が気軽に音楽を楽しむ機会の充実を図り、エローラ運営委員会を主体として、アフタヌーンコンサートや第36回田園ミュージックフェスティバルには松伏町出身の音楽家や松伏町に活動拠点を置く方が多数出演している。

問 音楽のまちづくりに600万円の予算で充分なのか、予算の増額が必要である。ホールとホウエの有効活用を図る必要がある。

答 町長 今後、予算等を付けられれば多くつけていきたい。エローラの稼働は全体で295日開館している。音楽で町おこしの目的の1つは知名度向上

で600万の予算では有名な方のコンサートは1、2回しかできない。

答 教育文化振興課長 音楽ホールの維持向上には、開館以来、35年経過している。整備や修繕を含め利用者の利便性の向上など順次取り組んでいく。



(C)日本コロムビア

1月25日にエローラで美しいハーモニーを奏でた宮田大氏&大萩康司氏のデュオ



ますだ ひでお
増田 秀雄
(未来クラブ)

Q 保健センターを移転とした理由は

A 様々なメリットがあり移転が最適

問 防災フェスティバルと避難所開設訓練について。

答 総務課長 令和6年度から名称を防災訓練から防災フェスティバルと変更し、新たにスタンプラリーを実施し内容を拡充した。このため、若年層や子育て世代の参加が増え、参加者は令和5年度より約40%増の550名であった。これにより防災を身近に感じ、さらに防災や減災に対する意識の醸成が図られた。令和6年度の避難所開設訓練は、男女共同参画の視点に立って実施した。令和7年度は、中学生、高校生を参加者に加え、防災意識の醸成を図るため、松伏小学校及び松伏中学校での実施も予定している。

問 第6次総合振興計画で定めた土地利用検討エリアの進捗について。

答 町長 安定財源確保の手段として企業誘致を行うことは極めて重要で、必要性が高い事業である。土地利用検討エリアは、活気とにぎわいのあるまちを次世代へつなげるため、企業誘致などの土地

利用を検討している。

問 保健センターを移転とした理由は。

答 すこやか子育て課長 健康づくり事業の展開、建設工事中の利用者の安全性の確保、保健センター業務の円滑な運営等でメリットがあるので、移転とした。建設地は、松伏高校西側の町有地及び土地開発公社所有地の一団の土地を選定した。



新保健センター完成イメージ図



ひらの ちほ
平野 千穂
(日本共産党)

Q 町道整備促進のため生コン提供を

A 道路整備の関わり促す参考になる

問 寄居町では、町道整備の促進のため自治会に生コンを無償提供している。町でも実施できないか。

答 まちづくり整備課長 寄居町では地域が実施する道路整備に対し材料支給や事業費補助を行っている。同支援は考えていないが、道路整備の関わりを促す意味で参考になる。調査・研究していく。

問 プレーパークを実施する市町が増えている。まずはイベント時に主催団体をよんではどうか。

答 すこやか子育て課長 自由な発想で遊び多様な体験をするプレーパークは、子どもの居場所として大変有意義。先進事例を参考に、公園管理者との協議やスペース確保、費用など調査・研究する必要がある。児童館事業に追加できるか検討する。

問 子どもたちの居場所と多様な学びの場の拡充を。

答 教育総務課長 クラスに入りづらい子が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習や生活ができる環境（SSR）を学校内につくる。令和6年度、試験的に運用を行った松伏小学校で

は、1日でも利用した児童が26名。自己表現の苦手の児童が自分の思いを伝えられるようになったり、表情が明るく豊かになったという報告があり、昨年度より欠席日数が減った児童もいる。第二小学校、金杉小学校にも令和7年度より設置する。中学校は、引き続き「さわやか相談室」が相談・訪問・生徒の居場所としての運用を行う。



プレーパークでの段ボール遊び。たき火や泥遊びなど、子どもが自由に遊べる所もある。



よしだ しゅんいち
吉田 俊一
(日本共産党)

Q 地域公共交通は健康長寿に影響

A できるところから着手する

問 松伏町地域公共交通計画素案は重要な視点が見落とされていないか。バス停から300m以上離れている交通空白・不便地域の現状と課題をつかんでいるのか。300m以内でもバス停まで歩けない方もいる。①人口などの調査、②不便だと思っている人の要望をつかむ調査が行われているのか。

答 企画財政課長 ①公共交通・徒歩網カバー率の現状78.7%を維持するとしている。徒歩圏以外の方は20%程度いる。人口密度は250m四方の100人単位で、詳細な数字は押さえていない。②アンケートで最寄りバス停までの距離が不便との回答は3割ある。300m以内でも2割以下の方が不便と回答している。

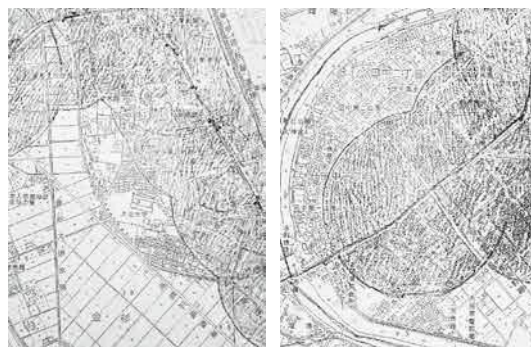
問 地域公共交通のクロスセクターベネフィット、健康長寿政策との関連を国土交通省も強調している。「現状維持」では高齢者の急増に対応できない。

答 町長 できるところから、着手したい。

県道・越谷野田線の歩道改善を

問 小河原バス停から越谷方面の歩道は斜めになっており、歩きにくい。排水溝の小さな段差もある。高齢者や子育て世代にやさしい歩道にすべきでは。

答 まちづくり整備課長 車道部の修繕でオーバーレイが施され歩道部との高低差が大きくなり、乗り入れ部にはすりつけがある。他にも同様の場所を確認し県越谷土木事務所に伝え、見守っている。



町内にあるバス停から300m以上の地域の事例



たかの まさひろ
高野 祐大
(チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q スーパーシティプロジェクトとは

A ゆめみ野周辺に景観施設等を設置

問 近年、多くの自治体が、スマートシティの概念を活用し、地域のサービス向上や市民生活の質の改善を目指している。埼玉県も埼玉版スーパー・シティプロジェクトを推進し、持続可能なまちづくりを支援している。埼玉版スーパー・シティプロジェクトに、松伏町がエントリーしない理由は。

答 企画財政課長 町では、調査に取り組んでいるが、エントリーするには至らなかった。令和7年度にエントリーする予定。

問 他の自治体と比較し、松伏町が抱える特有の課題はあるのか。

答 企画財政課長 松伏町は昨年、消滅可能性自治体に該当するとされた。人口減少を背景とする県が抱える課題と松伏町の課題は、ほぼ同じであると考えている。

問 令和7年度にエントリーするが、何をするのか。

答 企画財政課長 コンパクトといった点では、立地適正化計画の中でも位置づけている、ゆめみ野

周辺の緑道及び公園に景観施設等を設置することで、にぎわいの創出を図る。スマートという点では、オンライン手続や次世代サービスの推進を進めていきたい。レジリエントでは、非常時の電源確保や電気自動車の普及促進等によるゼロカーボンシティの実現等を予定していきたい。今後、埼玉県と協議しながら、調整していきたい。



埼玉県「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」
市町村のエントリー状況



すずき つとむ
鈴木 勉
(社会正義クラブ)

Q 中央公民館北側用地に変更せよ

A 用地変更「考え直す余地」はない

問 保健センター移転用地は、中央公民館北側の公園内の現在グランドゴルフ場として活用している敷地が約3,800㎡あり、そこに1階は図書館、2階に保健センターとする方法なら、国の補助金対象になり、用地取得費用はゼロ円である。一番効率的ではないか。

答 町長 その場所は、グランドゴルフやバードゴルフで使っている。そして、町民祭りやエローラで大きな催しの際に駐車場に使っている大事な土地だと認識している。

問 グランドゴルフ場なら、別の場所に用地を確保すれば良いのではないか。駐車場が足りなければ近くに確保すれば良い。中央公民館が隣接しているので、会議室なりを有効活用していけば、保健センターの建築費も抑制できるのではないか。

答 町長 現在、土地開発公社所有地で進んでいるので考え直す余地はない。

問 「後悔先に立たず」で、後悔する事態になる危険

性が非常にある。「先見の明」、つまり今だけを見るのではなく、先々を見ていくべきだ。

答 町長 私の土地開発公社の解散も一つ先を見たものである。



鈴木勉町議が新提案した用地取得費ゼロ円の
中央公民館北側の公園敷地。